



## 障スポ2026とともに考える インクルーシブ社会

受講  
無料

各回定員  
100名

申込締切  
各回の  
7日前まで

第1回 8/22 土

第2回 9/5 土

第3回 11/7 土

### みんなが暮らしやすい社会へ

障がいの捉え方と  
学校での支援

13:00~15:25

### 誰も取り残さない社会

『食べる』と『生きる』  
から考える

13:00~15:25

### 地域で支える社会

病気や生きづらさを  
抱える人とともに

13:00~15:25



どなたでもご参加できます

【申込】各回開催日の7日前までに 申込フォームまたは FAX でお申込みください。

▶ 申込みフォームの場合 /  
右のQRコードからアクセスし、お申込みください。

▶ FAXの場合 /  
郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(学校名)、電話番号、メールアドレス、  
希望する回にチェックし、下記申込先までお申込みください。 **FAX: 017-765-2021**



▶ 受講の可否 /  
申込完了をもって受講のご案内とさせていただきます。  
当日直接会場へお越しください。  
定員を超えた場合は入場いただけませんので、個別にご連絡いたします。  
▶ 当日の受付 / 当日の受付は12:30からです。

### 令和8年度 公開講座受講申込書

※切り取らずそのままFAXしてください。

申込年月日 / 令和8年 月 日

区分	※該当項目を ○で囲んでください。	一般 (高校生以外)	高校生
ふりがな お名前			
受講希望回	※希望する回の□にチェックしてください。(複数可)		
	<input type="checkbox"/> 第1回	8月22日(土)	13:00~15:25
	<input type="checkbox"/> 第2回	9月5日(土)	13:00~15:25
	<input type="checkbox"/> 第3回	11月7日(土)	13:00~15:25

ご住所	〒 _____		
ご職業 (学校名)	年齢	歳	
電話番号	_____		
メールアドレス	_____		

※年齢、ご職業については、講座受講者の傾向等を把握するためのもので、支障のない範囲でお答えください。  
※ご記入いただいた情報は公開講座実施のために利用し、それ以外の目的には一切使用しません。

### 青森県立保健大学への交通アクセス

- 青森市営バスをご利用の場合 / 青森駅からG21 明の星通り線に乗りし、「県立保健大学前」下車すぐ。
- 青い森鉄道をご利用の場合 / 青森駅から東青森駅下車 徒歩約10分。

中止、変更の場合は、本学ホームページでお知らせします。



# 障スポ2026とともに考える インクルーシブ社会

受講  
無料各回定員  
100  
名申込締切  
各回の  
7日  
前まで

## 第1回 8/22(土) みんなが暮らしやすい社会へ ～障がいの捉え方と学校での支援～

講演:1 13:10～14:10

「できない」を「できる」に変える試行錯誤のおもしろさ  
～障害の社会モデルから見えてくるもの～

講師:松崎 良美 [健康科学総合教育部門 講師]

インクルーシブ社会の重要性が叫ばれる昨今。なぜ、インクルーシブな社会について考える必要があるのでしょうか。障害の社会モデルという発想に立つとき、障害は、社会にとって、「できない」を「できる」に変えていく試みともみなせません。包摂的な社会の実現に貢献する実践例をご紹介します。

講演:2 14:25～15:25

子どもたちの運動をもっと安心に：  
これから始まるスクールトレーナーの取り組み

講師:漆畑 俊哉 [理学療法学科 准教授]

青森県でこれから導入が進む認定スクールトレーナー制度について、その役割や期待される活動をわかりやすく紹介します。あわせて、県内の小中学校が抱える安全管理や専門人材不足などの現状と課題を示し、障スポ2026を契機としたインクルーシブなスポーツ環境づくりの可能性を考えます。

## 第2回 9/5(土) 誰も取り残さない社会 ～『食べる』と『生きる』から考える～

講演:1 13:10～14:10

グローバルヘルスにおける  
インクルーシブの実現に向けて

講師:三好 美紀 [栄養学科 教授]

当学では、Globalな広い視野をもち、Diversity & Inclusionの理念の下に、様々な場でヒューマンケアを実践できる人材を育成することを目的に、2025年度より「グローバルヘルスプログラム」を開始しました。グローバルヘルスにおける、SDGsの理念である「誰ひとり取り残さない」取り組み、特にフードセキュリティの重要性についてお話しします。

講演:2 14:25～15:25

障がい者スポーツ選手が  
生まれつき持っている病気について知ろう

講師:福島 真人 [理学療法学科 講師]

障がい者スポーツに参加している選手たちは様々な障がいを抱えています。障がいの原因となる病気を生まれながら持っている人もいれば、生まれた後に病気や事故などにより手足の動きに支障をきたす人もいます。今回は、脳性まひや二分脊椎など、手足の動きに支障をきたす生まれながらの病気についてご紹介します。

## 第3回 11/7(土) 地域で支える社会 ～病気や生きづらさを抱える人とともに～

講演:1 13:10～14:10

子どもたちへ届けたい「支える仕事」  
～絵本とともに考えるインクルーシブ社会～

講師:葛西 孝幸 [社会福祉学科 講師]

本講座では、子どもたちへ医療・福祉の専門職を伝える絵本制作活動や地域での読み聞かせ実践を紹介します。また、病院等の外来受診時から、病気や生活の困りごとについて相談に応じる医療ソーシャルワーカーの役割や実践にも触れながら、「支える仕事」の魅力や、誰もが地域で支え合う社会について、皆さまとともに考える機会とします。

講演:2 14:25～15:25

共に生きる地域社会を考える  
～精神障害とインクルージョン～

講師:清水 健史 [看護学科 教授]

精神障害のある人が地域で暮らしていくことや、地域の中で共に生きる社会について考えます。精神医療の歩みや地域で支える仕組みにも触れながら、「誰もが安心して暮らせる地域社会」とは何かを、実際に地域で行われている取り組みも交えて皆さまと一緒に考えていきたいと思います。